

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

令和6年6月14日

発行：岩手県水産技術センター

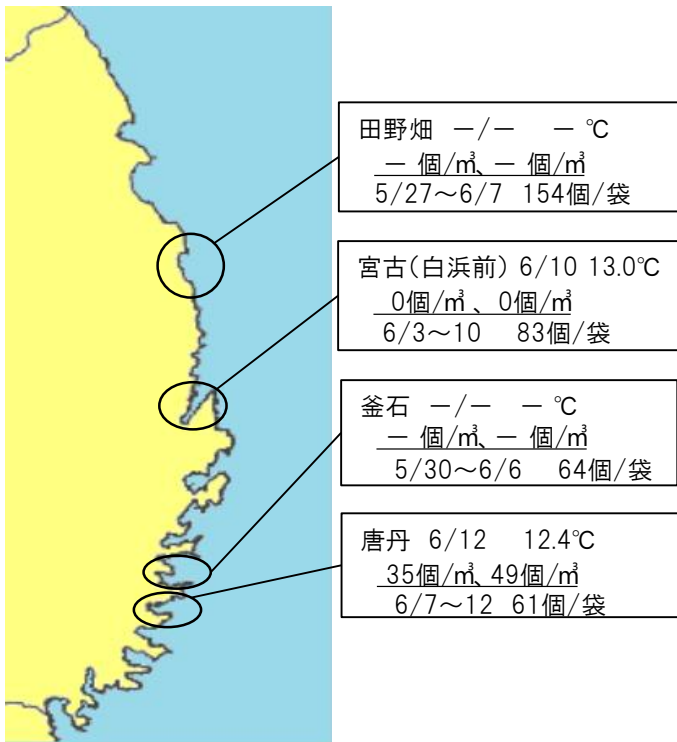
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの付着稚貝の出現が継続しています。
採苗器の投入を続けてください。

＜調査結果の概要＞

- 6月12日の唐丹湾の水温は12.4℃、透明度は8mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが35個/m³（昨年同時期：75個/m³）、200μm以上の大型のラーバが49個/m³（同：47個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが101個/m³、キヌマトイガイ・エゾイシカゲガイが17個/m³、その他が2個/m³でした。
- まとまった数の稚貝が継続して付着しています。採苗器が残っているところは、採苗器の投入を続けてください。



調査点	調査日	水深10m層水温	ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	----------	---------------------------	-----------	-------

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月21日頃に
発行する予定です。

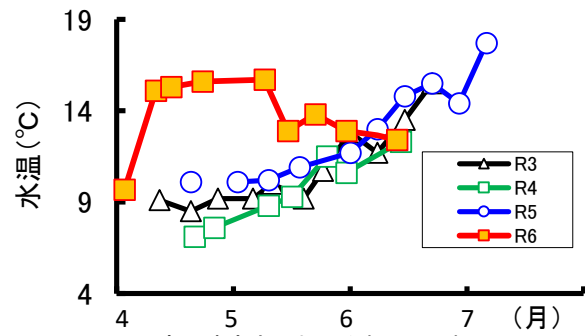


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

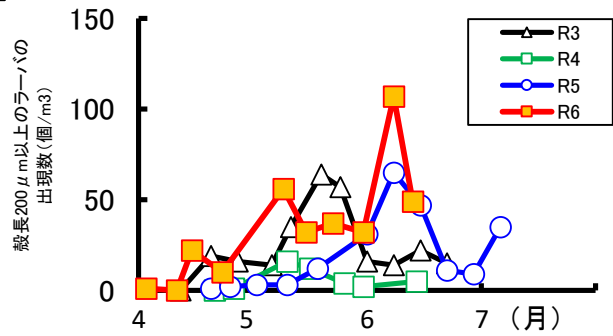


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

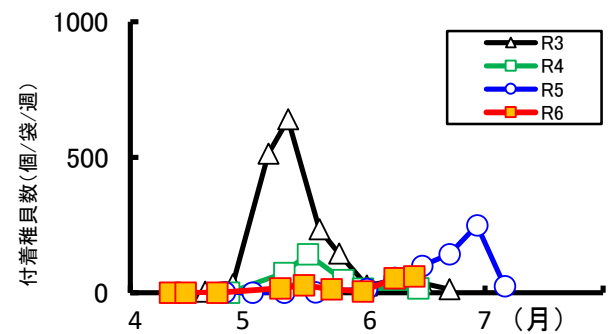


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数